

あ と が き

「協」という字は力が三つあります。まさに「協同組合」とは、人と人が集まって、知恵を出し合い、心と力を合わせることによって、思いや願いを実現していく仕組みのことです。

東日本大震災直後から事務所の電話が鳴り止みませんでした。「何か力になれることはないか」「被災者に支援物資を送りたい」電話の向こうは、全国各地のJA担当者。そして食料をはじめとした支援物資が次々と被災地に搬送されました。

全国各地のJAから多数の支援隊の皆さんが被災地に集まりました。三陸海岸の夏は冷涼ではあるものの30度を超える日もあり、水路のがれき撤去や泥さらいに汗を流し懸命に作業する支援隊の皆さんに「JA魂」をみました。

改めまして、多くの皆さまからいただいた「物心両面」にわたるご支援は、復興への大きな支えとなっており、衷心から感謝申し上げます。

あの東日本大震災から3年が経過しました。

この間、農業・JAを巡る情勢も激動しております。TPP交渉への参加、米の生産調整の見直し、そして農業・JA改革です。資本原理主義が最優先される今こそ、地域農業や地域社会の復興のためには、JAを始めとした協同組合の発展が必要ではないでしょうか。規制改革会議の委員には東日本大震災の復旧・復興にJAグループが果たしてきた役割を十分認識していただきたいものです。

被災地では今もなお懸命な復旧・復興作業が行われています。まだまだ、震災前の姿には戻りませんが、支援隊ががれき撤去を行った水田が蘇っている等、一步一步前進しています。今後とも、JAいわてグループでは協同の力を結集し、岩手の農業が元気になるよう取り組んでいくことにしております。

最後になりますが、本誌を作成するにあたり原稿や写真を提供していただいた各JA、各連合会、(株)日本農業新聞のご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き全国の皆さまのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

3.11 東日本大震災 記録 JA いわてグループ

復興へのあゆみ

発行日 平成 26 年 7 月
編 集 岩手県農業協同組合中央会
〒 020-0022 盛岡市大通一丁目 2-1
TEL.019-626-8522
発 行 JA いわてグループ
印 刷 永代印刷株式会社
盛岡市北飯岡一丁目 8-30
TEL.019-636-0011